

しゅようどうどう しれとここうえんらうすせん

—H27災 主要道道知床公園羅臼線災害関連事業①—

【概要】

3月21日に発生した雪崩による被災を受けた本路線は、知床半島先端部付近の相泊漁港を起点とし、羅臼町の市街地を結ぶ道路であり、当該地区には迂回路は無く、相泊漁港からの漁獲物の搬送にも不可欠な生活道路である。このたびの被災により地形が改変され冬期の雪崩発生が危惧される箇所を災害復旧の効果をもさらに高めるために、崩壊・裸地化した斜面への植生と雪崩予防柵を追加して設置する。

【事業内容】

事業主体：北海道
 事業箇所：北海道 目梨郡 羅臼町 相泊
 路線名：主要道道 知床公園羅臼線
 事業期間：平成27年度～平成28年度
 事業費：192百万円(内関連費74百万円)
 延長：L=48m



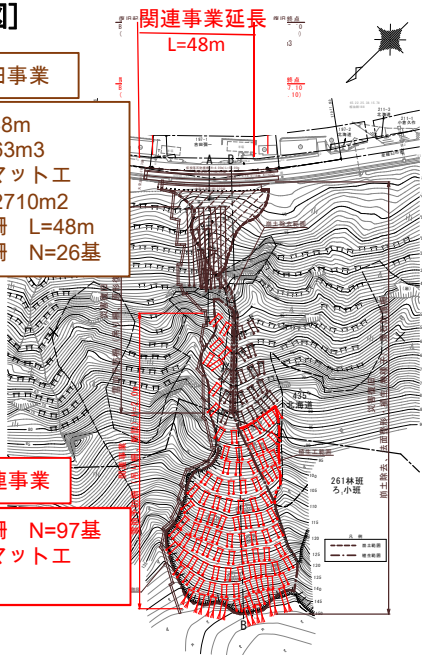
【平面図】

◇災害復旧事業

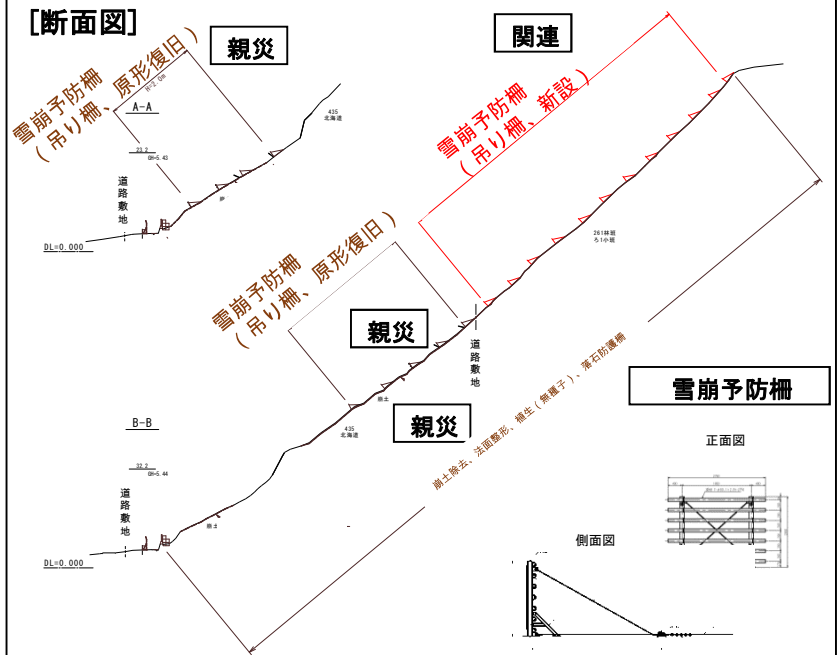
掘削工L=48m
 V=63m³
 客土注入マット工
 A=2710m²
 落石防護柵 L=48m
 雪崩予防柵 N=26基

◇災害関連事業

雪崩予防柵 N=97基
 客土注入マット工
 A=340m²



【断面図】



【被災写真】

